

長野県飯田市への「春めき」のプレゼント

長野県飯田市において、「長野県で一番早い桜の開花地づくり」を目指している団体（川路まちづくり委員会、農業振興会議、天龍峡温泉観光協会）の役員5名が、2月23日（日）南足柄市塚原、古屋富雄宅にソメイヨシノより一足早く咲く桜「春めき」100本の受領にこられました。

今回の飯田市への「春めき」のプレゼントについては、平成23年10月、飯田市の農業委員会や観光協会などが、南足柄市が施行している「市民農業者制度」などの農業振興施策の視察に来たことが、そのきっかけとなっています。

当時、私は、農業委員会の事務局長をしていました。そして、花紀行担当課長も兼務していたため、当市が進める、花による都市交流事業「フラワーフレンドリーシティ」の一環として、視察団体には、必ず「春めき」を提供していました。

25年の春には、飯田市で「春めき」が見事に咲いたとのことで、この桜の花を見て、是非「春めき」を天龍峡の周辺に植え、「長野県で一番早い桜の開花地づくり」を進めたいとの電話があり、この度のプレゼントになりました。



「春めき」と飯田市の皆様